

小倉工業北辰会報

編集兼発行
北九州市小倉北区
白萩町6-1
福岡県立小倉工業高校
北辰会事務局
TEL 093(571)1124
FAX 093(583)4924

ものづくり、ひとづくり そして日本一の学校づくり



校長
山本 久信

として、工業立国日本を支える「倉工生」を育成していく覚悟です。

そこで私は、三つの教育目標を掲げます。第一に、元氣な挨拶や礼儀、自らを律する自律の精神の涵養をとおして、人間としての基礎・基本、社会人としての生きる力を身につけさせます。第二に、ものづくりを中心とした工業の専門的技術・技能の指導をとおして、工業人としての基礎・基本、さらに技術の深化を目指す向上心を身につけさせます。最後に、部活動などとおして、健全でたくましい肉体と精神、自らに打ち勝つ

前任の笹原裕明校長先生が退職されたのに伴い、本年四月に八幡工業高校より着任いたしました山本でございます。今年で創立百十年を迎える歴史と伝統のある小倉工業高校で勤務できますことは大変光栄であり、身の引き締まる思いです。凛として規律正しく、はつらつとした生徒たちの姿を見るにつけ、先生方の生徒に対する深い愛情と、北辰会の皆さまの本校に対する熱い思いを強く感じた次第です。



前校長
笹原 裕明

この度三月三十一日をもって、四十一年間の教職生活に区切りをつけ、四月より新たな一歩を踏み出しております。一九六八

北辰会会員の皆様へ感謝!

克己心を身につけさせることを誓います。礼儀正しく、覇気を持って、社会に貢献できる人材の育成、そして日本一の学校づくりに邁進する所存です。

年(昭和四十三年)に本校に赴任以来三十二年間在職し、住み慣れた小倉工業を離れ田川で六年間、そして小倉工業高校に戻り、この二年間があつたという間に過ぎました。北辰会会員の皆様始め、多くの方々のご支援ご協力のおかげで無事勤め上げることが出来ました。心から感謝申し上げます。小倉工業高校在校中は、

北辰会入会式

卒業生191名入会

平成二十年度卒業生一九一名の入会式が、二月二十七日母校体育館で行われました。

また、昨年度新たに承認された在校生会員は二年生一九七名、一年生二〇〇名、合計三九七名となりました。



昭和三十五年工業化学科卒の皆さんが、五月二日に卒業五十年を記念して恩師村岡忠昭先生を囲みクラス会を開催しました。

また、恩師と教え子の絆を象徴する鳴海教諭記念碑の復元と、母校創立当時の篠崎の旧校舎そばに植えられていた八重桜と百日紅(さ

鳴海教諭記念碑を復元 昭和三十五年工業化学科卒業五十年記念

鳴海初太郎教諭記念碑 碑文

本校創立まもない旧校舎(現在の篠崎中学校)時代、全校生徒百五十名中、他県、他地域からの入学者など通学が困難な生徒が八十五名ほどで、寄宿舎生活が必要のため、一九〇二年(明治三十五年)に寄宿舎が竣工した。



移設前

記念碑

平成21年度 北辰会総会

本年度の北辰会総会は下記の通り開催します。今年度は母校創立110周年記念事業に取り組みます。会員諸氏の多くのご参加をお待ちしております。

- ◆日時 平成21年5月24日(日)
 - ・受付 14:00より
 - ・総会 15:00より
 - ・懇親会 16:00より
- ◆場所 ウェルシティ小倉(九州厚生年金会館)
 - 北九州市小倉北区大手町12-3
 - TEL 093-592-5401
- ◆会費 5,000円
- ※交通手段 JR小倉駅バスセンター「8番のりば」から「100円周遊バス」に乗車。
 - (内回り) 魚町・西小倉駅経由
 - (外回り) 平和通り・医療センター経由

この八重桜と百日紅は記念碑と共に校舎移転の時この白萩の地へ移されたが、一〇〇年を越える歳月の中で、記念碑のみが本校に残っている。

籠原先生退職祝賀会

母校卒業生でもある籠原裕明校長先生が、平成二十二年三月で退職、四十一年にわたる教職を退かれることになりました。

その祝賀会が、平成二十一年三月二十二日小倉北区・リーガロイヤルホテル小倉で開催されました。

籠原先生ご夫妻が出席された祝賀会には、小倉工業同窓会・教職員・父母教師会、そして籠原先生ご縁の深かった各界関係者の方々が多数参加されました。

出席者代表による祝辞に続いて、記念品および花束が籠原先生ご夫妻に贈呈されました。

籠原先生から謝辞をいただいた後、母校元校長ご三



方が祝福のお話を吟じました。

祝宴の中で、籠原先生の様子を折にふれ撮った写真をまとめたスライドが映写されました。また先生の娘さんお二人から、先生に送られました手紙も披露されました。

宴は、全員で校歌斉唱、そして万歳三唱が行われてお開きとなりました。

籠原裕明先生のプロフィール

昭和四十二年三月 小倉工業高校電子科を卒業。

一年間の会社勤めの後、昭和四十三年七月 小倉工業高校で実習助手を務めることになる。

以後実習教師、主任実習助手を経て、平成七年四月 教諭となる。

平成十一年に行われた母校創立百周年記念事業では北辰会事務局長として大変尽力される。

平成十二年四月 福岡県立田川工業高校に転出し、教頭に就任。

平成十六年四月から総合型産業高校設立準備室長として計画立案にかかわり、

学校だより

吹奏楽部

平成十六年十一月 福岡県立田川科学技術高校校長に就任。

平成十九年四月 小倉工業高校に転任し、校長に就任。

山口大大学院技術経営研究科で二年間、知的財産教育について学び修了(専門職)を得る。

平成二十一年三月 退職。

特許庁長官表彰される

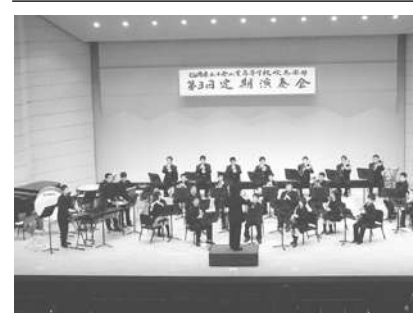
このたび、籠原裕明前校長は、平成二十一年度産業財産権制度関係者功労者として、特許庁長官表彰を受けられました。

産業財産権制度の普及促進および発展に貢献があったとして表彰されたので

一月二十四日、小倉北区の北九州芸術劇場大ホール(リバーウォーク6階)にて、第三回チャリティーコンサートを行いました。

今回より地元の小倉北区に会場を変更しました。今までより大きな会場でしたので、開場前は来場者数が多いに訪れて頂き、三回目を迎えたチャリティーコンサートの皆様に定着していることを実感しました。

生徒たちは、素晴らしい演奏を披露し、日頃の練習成果を十分に発揮しました。当日は午後より雪の舞



う空模様でしたが、会場内は部員の熱気ある演奏で、聴衆は心も身体も温まり、楽しいひと時を過ごすことができました。

来年も第四回目を同場所で行う予定です。同窓の皆様ぜひご来場ください。よろしくお願いいたします。

(吹奏楽部OB会長 小屋敷 憲治)

山田奨学会の今後について

山田晃氏(明治四十年機械科卒)の寄付により創設された山田奨学会は、昨年までに四百数十名の生徒に利用されてきましたが、昨今の金融情勢下では全く機能しない状況となっております。

この度、新しい公益法人制度が施行されました。それにより、平成二十五年十一月までに、次のいずれかの方法を選択しなければなりません。

一、公益社団・財団法人への移行申請。

二、一般社団・財団法人への移行申請。

三、解散

一、二、共に広く公益性が求められる為に、山田奨学会の現状では、存続は不可能に近い状況であります。従って解散する方向で処理することになりました。

解散後は山田奨学会の名称を残し、教育振興基金で奨学制度を存続して、山田晃先輩の意志を生かすこととなります。

同窓会会費納入および創立百周年記念事業募金のお願い

同窓会「北辰会」が健全な活動を維持していくには、年額二千円の北辰会費です。

北辰会事務局は、今後とも会員各位へのサービスを向上させ、母校発展のために努力を重ね、事務の効率化と経費節減に努めてゆく所存です。

北辰会の健全な活動の基本であります「年会費」の納入を宜しくお願い申し上げます。

また、母校創立百周年記念事業、校内教育環境整備遂行のための募金(教育振興基金を含む)のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経済情勢が大変厳しい中、恐縮ではございますが、同窓諸兄弟の皆様の温かいご理解とご協力を必要としています。

つきましては、別紙趣意書にご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

『二十一世紀の礎を築き、世界にはばたけ、倉工健児!』

母校創立百周年記念事業計画決まる

明治三十二年に創立された小倉工業高校は、平成十一年に百周年を迎え、P.T.A・同窓会が一体となって、記念館の建設・篠崎門の復元と校門周辺の整備等の大事業を推進し大成功を収めました。

特に、教育振興基金の創設は母校生徒の就学支援、ものづくりや部活動への支援に大きく貢献しています。

早いものでそれから十年が経ち、今年百周年を迎えます。百余年の永きに亘って日本の産業発展に尽くして来た小倉工業の輝かしい伝統と実績をこれからも継承していくことが大切です。

創立百周年を契機に、世界に名だたる学校として、二十一世紀の礎を築き、日本の産業を担う工業技術者として母校生徒の健やかな育成を目指し、新たな目標

を掲げ名実共に日本一の工業高校創りに取り組まなければなりません。

本校では、現在小倉工業高校が中心となって北九州地区周辺の工業高校との交流を深め、ものづくりやスポーツの合同での合宿を行うなど、お互い切磋琢磨し全体的なレベルの向上を計り、さらに飛躍できる取り組みを計画しています。

交流の場としては、母校の先輩に建設していただいた北辰館を有効に活用させていただき、ものづくりとスポーツの北九州の交流の拠点として計画しています。

北辰会ではこの度、福岡県の工業高校の中核校としての母校の取り組みを支援し、二十一世紀を担う母校の後輩が豊かな体験を基に巣立つことを願い、建設以來四十年が経つ北辰館を有

110周年記念事業

- 校旗製作
- 校内教育環境整備
 - ・多目的ホールおよび食堂の空調設備
 - ・教室のメディア化(パソコン・テレビ)
 - ・玄関前植え込みに記念オブジェ製作
- 記念誌発行
 - ※以上は学校・P.T.A
- 北辰館改修工事
 - ・1階部分の改修
 - ・2階、3階の浴室やトイレの改修
 - ・外壁塗装や屋上防水工事
- グランドメインスタンド(スカイルーク建設)
- 部活動用マイクロバス購入
 - ※以上は北辰会



110周年記念行事

- ・5月1日(金) 卒業生講話会
- ・5月24日(日) 北辰会総会
- ・6月6日(土) 福岡工業-小倉工業 野球定期戦
- ・7月11日(土) 部活動関係者を激励する会
- ・7月下旬~8月上旬 国際交流 仁川機械工業高校訪問
- ・10月3日(土) 体育祭
- ・10月5日(月) 北辰会オープンゴルフ大会
- ・10月31日(土) 記念式典 祝賀会
- ・12月12日(土)、13日(日) 文化祭
- ・平成22年2月6日(土) 吹奏楽部演奏会

教職員の異動

- 【退職】
- ▽籠原 裕明(校長)
- 【転出】
- ▽平野 孝幸(教頭) 福岡県教育庁へ
 - ▽宇佐 哲治(理科) 小倉東高校へ
 - ▽永松 真弓(家庭) 小倉西高校へ
 - ▽福島 毅(設備機械) 萩田工業高校へ
 - ▽松永 佳幸(設備機械) 県教育センターへ
 - ▽宮崎 隆司(電気) 萩田工業高校へ
 - ▽三浪 芳照(事務次長) ひびき高校へ
 - ▽宮崎 康(事務室) 門司大翔館高校へ
- 【転入】
- ▽山本 久信(校長) 八幡工業高校より
 - ▽山田 晴隆(教頭) 嘉徳総合高校より
 - ▽小崎 昌敏(数学) 小倉西高校より
 - ▽橋本 朋子(家庭) 福岡高校より
 - ▽桑本 雅生(機械系) 萩田工業高校より
 - ▽日根野 朋(機械系) 新任(常勤講師)
 - ▽光成 智子(電気系) 八幡工業高校より
 - ▽福来 智昭(電気系) 新任(実習助手)
 - ▽瀬戸 邦博(事務次長) ひびき高校より
 - ▽伊集院 彩(事務室) 新規採用